

平成24年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

●予算編成の考え方

島根県立大学は、平成19年度に3大学が統合・法人化し、3キャンパスの基盤づくりと教育研究の活性化に努めてきました。また、平成22年度に制定した「島根県立大学憲章」に掲げる理念に沿い、全学を挙げて積極的に大学運営に取り組んできたところです。

平成24年度は中期計画最終年度であり現計画の総仕上げと位置付けられることに加え、次期中期計画に繋いでいく重要な時期であることを踏まえた法人運営が必要となります。

一方で、県の運営費交付金が効率化を促す趣旨から毎年度減額される中、平成24年度においては効率化対象経費を縮小する見直しが行われたものの、効率化を継続する方針が示されたため、自律的な運営のための経費削減努力、効果的な事業執行、自己財源の確保等が引き続き求められています。

このため、平成24年度予算案は、「年度計画」及び「重点項目」を踏まえ、中期計画が着実に実行できるよう、教育の質の向上、学生支援の充実、競争的外部資金事業の後継対策、研究の支援、業務の改善、大学環境整備の充実、さらに、東日本大震災を契機として公立大学として求められる対応などに留意しつつ編成を行いました。

●予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、33億42百万円で、前年度予算（38億85百万円）に比べ、14.0%減（5億43百万円減）となっています。

(単位:千円、%)

区 分	平成24年度当初	平成23年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,341,960	3,885,348	▲543,388	▲14.0

2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成24年度当初		平成23年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,769,264	52.9	1,517,403	39.1	251,861	16.6
学生納付金	988,353	29.6	976,226	25.1	12,127	1.2
県補助金(四大化除)	43,716	1.3	119,083	3.1	▲75,367	▲63.3
外部補助金等	26,488	0.8	49,273	1.3	▲22,785	▲46.2
寄附金	40,000	1.2	40,000	1.0	0	0.0
その他収入	85,288	2.6	84,869	2.2	419	0.5
計	2,953,109	88.4	2,786,854	71.7	166,255	6.0
運営費交付金(退手)	117,555	3.5	97,075	2.5	20,480	21.1
県補助金(四大化)	163,163	4.9	879,430	22.6	▲716,267	▲81.4
積立金取崩収入	108,133	3.2	121,989	3.1	▲13,856	▲11.4
合 計	3,341,960	100.0	3,885,348	100.0	▲543,388	▲14.0

○運営費交付金は、給与カットの終了及び人勸影響による増+50百万円、効率化（▲1.3%）による減額分▲10百万円、出雲キャンパス四大化関係経費分の増+147百万円、運営費交付金見直しによる増+67百万円等を見込み、総額で252百万円増（+16.6%）（退職手当除き）となっています。

- 県補助金（大規模修繕等の特殊要因経費に対し10/10補助）は、出雲キャンパス四大化事業分（163百万円）、通常事業分（松江キャンパス中央監視ユニット更新事業等）及び神々の国しまねプロジェクト分を予定し、792百万円減（▲79.3%）となっています。
- 外部補助金等は、受託研究収入等を計上し、23百万円減（▲46.2%）となっています。
- 寄附金は、旧北東アジア学術交流財団寄附金事業に充てるための収入として、平成23年度と同額を計上しています。
- 積立金取崩収入は、「教育研究及び業務運営充実積立金」を財源として実施する事業に充てるための収入として計上し、14百万円減（▲11.4%）となっています。
- ※目的積立金充当事業：教育向上、学生支援、G P 後継、研究支援、業務改善、環境整備等に資する事業

3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成24年度当初		平成23年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	266,027	8.0	241,224	6.2	24,803	10.3
研究経費	156,340	4.7	131,787	3.4	24,553	18.6
教育研究支援経費	221,227	6.6	191,710	4.9	29,517	15.4
人件費(退手除)	1,824,798	54.6	1,664,131	42.8	160,667	9.7
一般管理費	458,437	13.7	449,879	11.6	8,558	1.9
施設費事業(四大化除)	38,620	1.2	119,083	3.1	▲80,463	▲67.6
受託事業等	52,966	1.6	80,340	2.1	▲27,374	▲34.1
予備経費	44,173	1.3	45,376	1.2	▲1,203	▲2.7
計	3,062,588	91.6	2,923,530	75.2	139,058	4.8
人件費(退職手当)	117,555	3.5	97,075	2.5	20,480	21.1
施設費事業(四大化)	161,817	4.8	864,743	22.3	▲702,926	▲81.3
合 計	3,341,960	100.0	3,885,348	100.0	▲543,388	▲14.0
特定財源支出除き	2,856,427		2,587,431		268,996	10.4

- 教育経費は、出雲キャンパス四大化経費の増、就職活動推進経費の増、教育備品更新経費の増等により、25百万円の増を見込んでいます。
- 研究経費は、出雲キャンパス四大化に伴う教員研究費の増、神々の国しまねプロジェクト～国際学術シンポジウム2013準備経費の増等により、25百万円の増を見込んでいます。
- 教育研究支援経費は、情報システム更新経費の増、パソコン更新経費の増等により、30百万円の増を見込んでいます。
- 人件費は、給与カットの終了及び人勧影響による増、出雲キャンパス四大化に伴う人員増、退職手当の増等により、181百万円の増を見込んでいます。
- 一般管理費は、出雲キャンパス四大化に伴う施設修繕・設備更新経費の増、財務会計システム更新事業終了による減等により、9百万円の増を見込んでいます。
- 施設費事業には、県補助金を財源とした出雲キャンパス四大化事業費や大規模修繕等の事業を計上しています。
- 受託事業等には、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円等を計上し、文部科学省就業力G P 事業等の終了による減等により、27百万円の減を見込んでいます。
- 予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、44百万円を計上しています。
- 支出総額は、5億43百万円減（▲14.0%）となっていますが、特定財源による支出を除くと28億56百万円で、前年度に比べ2億69百万円増（+10.4%）となっています。

※特定財源：運営費交付金(退手)、県補助金、外部補助金、受託研究等収入、旧NEAR寄附金、積立金取崩収入

4. 主な事業の概要

(1) 学部新設

●看護学部設置（四年制大学化）事業（本部）【県補助】	163,163 千円
----------------------------	------------

・平成24年4月看護学部設置に伴い必要となる新規駐車場整備（調査、測量、設計、造成・舗装等）及び校舎増築竣工式・学部開設記念式典を実施する。

●福利棟・学生寮厨房機器更新事業（出雲C）〈新規〉	9,500 千円
---------------------------	----------

・老朽化が進み故障が頻発している福利棟・学生寮の厨房機器について、四大化に伴う学生数増に対応し、厨房機能を維持・充実するため機器更新を実施する。

(2) 教育の充実、向上

●教務学生システム・図書館システム更新事業（本部）〈新規〉	25,700 千円
-------------------------------	-----------

・平成24年にリース期間が満了する教務学生システム及び図書館システムを更新し、後継システムをリースする。

●「学修と就業の一貫性を構築するキャリア教育」事業（浜田C）〈新規〉	17,249 千円
------------------------------------	-----------

・初年次から地域の職業人と接して学習目的を明確化し、自ら職業に就く能力を身につけることを目的として、少人数グループで地域に出て地域の課題を発見する「フレッシュマン・フィールド・セミナー」や就業力育成のための「海外企業研修」など就業力育成G P事業として採択された内容を継続して実施する。

●「情報教育におけるステップ式学習プログラム」事業（浜田C）〈新規〉	5,567 千円
------------------------------------	----------

・平成21～23年度に実施したG P事業により構築された情報・統計教育基盤を活用して、引き続き社会調査実習等を開講し、学生の教養教育及び専門能力育成を実施する。

●シミュレーション教育充実事業（出雲C）〈新規〉	9,858 千円
--------------------------	----------

・看護実践能力育成機能を強化するため、学内演習として看護現場により近い場面を再現できるシミュレーション教育用の高性能シミュレーターを導入する。

●「おはなしレストラン」事業（松江C）〈新規〉	9,636 千円
-------------------------	----------

・平成21～23年度に実施したG P事業の成果を引継ぎ、絵本の読み聞かせを通じた学生の人間力育成のため、おはなしシェフの養成、出前シェフ、おはなしレストランのメニューや素材の充実を実施する。

●フィールドワーク学外実習の充実（松江C）	804 千円
-----------------------	--------

・総合文化学科学生が「日本古典文学を歩く」「日本文化演習」「観光英語」等の専門科目において、地域文化の理解や地域資源が溢れるフィールドを活かした学外実習を実施する。

●電子掲示板システムによる大学・同窓会交流推進事業（松江C）〈新規〉	2,609 千円
------------------------------------	----------

・同窓会で管理する電子掲示板システムを導入し、大学、在学生及び卒業生間の情報交換やアンケート等を実施することにより、教育内容の改善やキャリア支援を充実する。

(3) 学生支援・地域貢献の充実

●学修支援奨学金（全学）〈新規〉	26,260 千円
・意欲ある学生への学修支援を行うため、現在の授業料減免制度等を見直し、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金及び成績優秀者奨学金の3メニューからなる新たな奨学金給付制度を創設し、平成24年度入学生から適用する。	
●学外巡回パトロール業務委託事業（浜田C）〈新規〉	1,229 千円
・学生の安全安心確保を図るため、大学構外周辺地域において夜間の巡回パトロールを業務委託により実施する。	
●安全・安心で快適な癒される学生寮づくり事業（出雲C）〈新規〉	5,073 千円
・入寮生の安全安心を確保し、相互のコミュニケーションや学力研鑽がより一層図られるよう駐車場整備・外灯設置、食堂の環境改善、談話・学習スペースの確保等を実施する。	
●キャンパスマイレージ事業（全学）	984 千円
・学生のボランティア活動やエコ活動をポイント化して蓄積し、地域活動及び社会的な実践活動を通じた社会貢献と学びの促進の動機付けとする。また、学生の活動実績はデータとして蓄積し、学内外へ情報発信したり本人の振り返りに活用する。 ・蓄積されたポイントは、各キャンパスの創意工夫で学生に還元する。	
●学生地域ボランティア活動推進事業（全学）	1,110 千円
・学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、活動に際して発生する事故等に対する保険の保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を通じて、学生ボランティア活動の推進を図る。	
●椿の道アカデミー20周年記念事業（松江C）〈新規〉	1,280 千円
・松江キャンパス公開講座開設20周年を記念して、文化資源探求講座、名誉教授講座、著名人講座などを拡充して実施する。	

(4) 研究の活性化・国際交流の推進

●教員研究費（全学）	129,392 千円
・出雲キャンパス四大化に伴う教員増に対応して研究費総額を増額 (H23予算) 113,577千円 → (H24予算) 129,392千円	
●北東アジア地域研究センター事業	4,953 千円
・大学院生の教育・指導の充実を図るため、GP事業「魅力ある大学院教育イニシアティブ」に選定された「実践的北東アジア研究者の養成プログラム」の後継事業である「市民研究員制度運営費共同研究助成事業費」及び「競争的課題研究助成プログラム事業」を継続実施する。	
●島根国際学術シンポジウム2013事業（浜田C）【県補助】〈新規〉	5,096 千円
・県が展開する「神々の国しまねプロジェクト」の一環として、本学が培ってきた北東アジア研究を踏まえ、古代から現代までの北東アジア地域間交流の歴史や、対米関係も踏まえた北東アジア地域の将来展望をテーマとした、日・中・韓・露・米の研究者による国際学術シンポジウムを平成25年秋に開催するための準備を実施する。	

●海外研修奨学金（全学）	12,750 千円
--------------	-----------

・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、海外研修奨学金制度を継続・拡充し、研修を通じて異文化に深くふれ合うことで、大学のグローバル化を意識した学修の動機づけを図る。（H23実績）165名

(5) 大学運営・情報公開の充実

●島根県立大学認証評価実施経費（浜田C）	3,250 千円
----------------------	----------

・島根県立大学において、平成23年度に実施した自己点検・評価報告を受け、学校教育法に基づき認証評価機関による認証評価を受審する。

●タウンミーティング開催事業（出雲C）〈新規〉	500 千円
-------------------------	--------

・近隣地区住民や卒業生・修了生が参加するモニター制度に加え、医療関係者や教育関係者に止まらず幅広く県民の意見を聴き大学運営に反映させるため、石見・隠岐地区においてタウンミーティングを実施する。

(6) 県特殊要因経費補助金（大規模修繕等） 206,879 千円

●看護学部設置（四年制大学化）事業分（再掲）	
・駐車場整備費（調査、測量、設計、造成・舗装等）	161,817 千円
・式典経費（竣工式、学部開設記念式典）	1,346 千円
●神々の国プロジェクト分（再掲）	
・島根国際学術シンポジウム2013準備経費（嘱託人件費、旅費等）	5,096 千円
●通常分	
・松江C：中央監視装置用リモートユニット更新事業、1・2号館ガラスブロック外壁改修事業	38,620 千円

(7) 旧北東アジア地域学術交流財団（旧NEAR財団）寄附金事業 40,000 千円

〔主な事業〕	
・北東アジア学術研究プロジェクト事業	1,000 千円
・北東アジア学術図書出版事業	2,500 千円
・共同プロジェクト研究助成事業	6,500 千円
・地域貢献プロジェクト助成事業	3,900 千円
・学術図書出版助成事業	2,000 千円
・国際学術交流事業	4,585 千円
・研究者等招へい派遣助成事業	1,000 千円
・交流県留学生教育支援事業（奨学金、語学研修）	8,380 千円
・大学院留学生教育支援事業（奨学金、語学研修）	8,635 千円
・国際文化交流促進事業	1,500 千円